

議会だより

笑顔のために



No.433

令和6年2月1日発行

表紙説明は裏表紙をご覧ください

目次

目次

01 表紙	06 委員会
02 目次／LINE登録のご案内など	09 一般質問の目次
03 議会だより広報活動	10 一般質問(19人)
04 11月定例会の流れ	19 2月定例会の予定
05 11月定例会議決結果／政治倫理研修会報告	20 表紙の説明／編集後記など

あなたの声をおまちしています

- 議会での質疑や議会だよりの内容等、ご意見・ご質問をお寄せください。
- 議場傍聴席のアンケート用紙、郵便、メール等でご意見おまちしています。

アンケート用紙 → 傍聴席アンケート回収箱に
郵便 → 〒418-8601 富士宮市弓沢町150番地
メール → c-jimu@city.fujinomiya.lg.jp

市民のご意見



議会を『ネット』で見よう！

- 本会議のインターネット映像を配信しています。「録画映像」と「ライブ中継」の2種類です。
- 下のQRコードからインターネット中継・会議録検索システムが、スマホやタブレットから見られます。

※インターネット中継の配信内容は、公式記録ではありません。

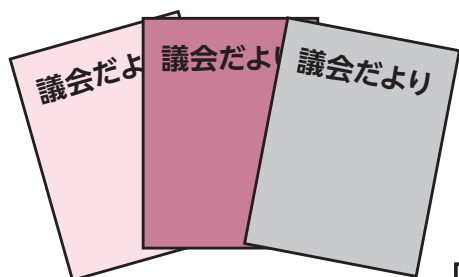
富士宮市議会

検索



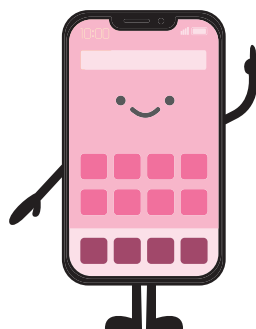
議会だより電子版のご案内

富士宮市ホームページから、議会だより電子版(PDF版)を見ることができます。バックナンバーも格納していますので、是非ご利用ください！



富士宮市LINE登録のご案内

- 市公式LINEにて議会に関する情報を発信しています。
- 議会の定例会、委員会、その他のイベントなどを投稿しています。





富岳館高校生 × 議会だより編集委員会

「議会だより」や「議会」についてご意見伺いました！



議会だより編集委員会(議員6人)は、12月15日(金)に12月発行号の議会だより表紙を作成、提供いただいた富岳館高校を訪問し、議会だよりや議会について高校生の率直な考えを伺いました。

議会だよりや議会を高校生年代に知ってもらい、興味を持ってもらうために、議会だよりの改善点などについて、自由に意見を出していただきました。高校生らしい自由で大胆なアイディアは大変参考になるものでした。



11月定例会の流れ

11月定例会では、議案審議と一般質問を行いました。

11/22

開会
提案理由説明 ※1

議案（条例の一部を変えることや、令和5年度補正予算など）について審議し議決しました。

11/27

議案審議
付託 ※2

チェック! P5

付託された案件について、常任委員会では詳しく調査検討をしました。それ以外にも常任委員会は、所管事務調査※3を行うこともできます。

11/28~30

常任委員会
開催

チェック! P6~8

一般質問とは、議案とは別に、議員が市の事業全般について執行状況や将来の考え方などを問い、適切に進んでいるかをチェックするものです。また、議員は活発に市に対し提言を行います。

常任委員会に付託された案件を含め、その他の議案について、審議し議決しました。

12/5~8

一般質問

チェック! P9~19

12/8

閉会
議案審議

チェック! P5

用語
解説

※1… 市が市議会に対して、提出する議案の説明を行うことです。

※2… 一部の議案については、より詳しく審査を行うため、所管の常任委員会に審査を託します。この託す行為を“付託”といいます。

※3… 所管する事務について任意に調査することを、“所管事務調査”といいます。富士宮市議会には、所管する事務に応じて3つの常任委員会（総務文教、環境厚生、産業都市）が組織されています。

11月定例会 議案審議/政治倫理研修会

議案番号	件名	議決結果
報第23号	損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告について	報告済
報第24号	損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告について	〃
議第63号	富士宮市職員の給与に関する条例及び富士宮市子ども・子育て会議設置条例の一部を改正する条例制定について	原案可決 全会一致
議第64号	富士宮市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	〃
議第65号	富士宮市立富士宮第一中学校屋内運動場耐震補強工事請負契約の変更について	〃
議第66号	公の施設の指定管理者の指定について(富士宮市立長生園)	〃
議第67号	公の施設の指定管理者の指定について(都市公園)	〃
議第68号	公の施設の指定管理者の指定について(富士宮市民テニスコート等)	〃
議第69号	公の施設の指定管理者の指定について(富士宮市総合福祉会館)	〃
議第70号	公の施設の指定管理者の指定について(富士宮市営墓地)	〃
議第71号	公の施設の指定管理者の指定について(富士宮市富士宮駅前交流センター)	〃
議第72号	公の施設の指定管理者の指定の変更について(富士宮市民文化会館)	〃
議第73号	令和5年度富士宮市一般会計補正予算(第5号)	〃
議第74号	令和5年度富士宮市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	〃
議第75号	令和5年度富士宮市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	〃
議第76号	令和5年度富士宮市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)	〃
議第77号	令和5年度富士宮市水道事業会計補正予算(第1号)	〃
議第78号	令和5年度富士宮市下水道事業会計補正予算(第1号)	〃
議第79号	令和5年度富士宮市病院事業会計補正予算(第1号)	〃
議第80号	令和5年度富士宮市一般会計補正予算(第6号)	〃
選第7号	教育委員会の委員任命に関し同意を求めることについて	同意

※報＝市からの報告、議＝条例・予算・契約などの議案、選＝人権擁護委員候補者以外の人事案件 の略。

※議案番号は、令和5年2月定例会からの通し番号。

※詳しくは市議会事務局（電話22-1191）までお問い合わせください。

政治倫理研修会開催

市議会では、富士宮市議会議員政治倫理条例を制定し、令和4年10月1日に施行しました。この機会に政治倫理について理解を深めるため、令和5年12月12日に、(株)廣瀬行政研究所代表の廣瀬和彦氏を招き、政治倫理研修会を開催しました。講師からは、議員として求められる資質や議員活動にかかわる法令の遵守、問題になった事例などを挙げながら注意点の説明がありました。

改選後初の開催であり、新しく議員となった方はもとよりベテラン議員からも改めて自分を見つめなおす有意義な研修だったとの感想がありました。

今後も継続して研修等を行い、議員一人一人が市民からの信頼に応えるため政治倫理を意識して行動するよう促してまいります。



議会運営委員会

齋藤 和文 委員長コメント

議会運営委員会では、「議会選出各種議員の報告」を検討し、富士宮市議会から選出した『岳南排水路管理組合』『共立蒲原総合病院組合』『駿豆学園管理組合』『農業委員会』『都市計画審議会』『民生委員推薦会』において、定例会や審議される内容を各市議会議員に報告することを決定し、今後、各議員の議会用タブレットに報告されます。報告されることにより、議会選出各種委員会の審議等が全議員に情報が共有されることとなります。

その他、「当局側への資料の掲示方法について」についても審議されました。今後議場の改修も予定をされておりますが、現段階の資料の掲示方法については『自立型ホワイトボード』を使用すると決定しました。



産業都市委員会

政策課題

盛土の現状と対応について

村瀬 旬 委員長コメント

11月30日に所管事務調査を行いました。

政策課題であります「盛土の現状と対応について」としまして、ストックヤード運営事業者登録制度の概要について、当局から概要説明を受け質疑応答を行ったのち、現地調査を実施しました。

現地調査の内容は、市内の不適切盛土4か所について、及び、御殿場市内にあります、現在静岡県が管理しているストックヤードの視察を行いました。

御殿場市内の県営ストックヤードでは沼津土木事務所の職員から説明を受け、質疑応答を行い、県の盛土処理の現状及び今後の動向について知ることができ、今後の調査研究の参考としていきたいと考えております。

※ストックヤードとは…利用可能な良質土や普通土を一時的に仮置きし、その後、他の工事現場へ搬出して再利用するための施設です。



▲県営ストックヤード(御殿場市内)

総務文教委員会

政策課題 小中学校における不登校の実態と対応について

鈴木 弘 委員長コメント

総務文教委員会に付託された富士宮市体育施設と、富士宮駅前交流センターの2件の指定管理者の選定について審査を行いました。

選定委員会において、前者は富士宮市スポーツ協会・地域ステップアップサービスグループ、後者は公益社団法人富士宮市振興公社が選定されており、審査の結果、それぞれその選定を可決すべきものと決定しました。

次に、公共交通について所管事務調査を行いました。より利便性の高い公共交通システムを構築することは我々の願いです。更なる向上のためには、情報通信技術やAIを活用することが重要であると言いつつも、それについては先進事例を研究するという事に留まっています。

いろいろと研究をして実証実験等につながっていくことが期待されます。



先進地視察

視察内容 ・不登校特例校の開設の経緯と教育内容 (東京都大田区)
 ・e-City Labo (NTT)
 ・不登校特例校の開設の経緯と教育内容 (宮城県白石市)

文部科学省が設置を推進している「学びの多様化学校(旧不登校特例校)」である、東京都大田区立御園中学校分教室みらい学園と宮城県白石市の白石きぼう学園を視察しました。

どちらも1日のカリキュラムが決まっていて、通常校と同じ内容の授業を履修していました。そして、それぞれゆったりとした環境のもとで活動できるよう配慮されていました。今後、教育委員会と意見交換をしていきたいと考えます。

また、デジタルの活用について、調布市のNTT e-City Laboを視察しました。

市の業務の改善にプログラミングがいらぬノーコードというツールが有効であると知らされ、担当課に伝えたところ、導入を検討中であるという報告を受けました。使う人材の育成にも力を入れていただきたいと思います。



▲白石きぼう学園



▲NTT e-City Labo

環境厚生委員会

政策課題 プラスチックゴミをはじめとするゴミのリサイクルについて

植松 健一 委員長コメント

11月定例会における環境厚生委員会は、所管事務調査として「公の施設の指定管理者の指定について」を調査しました。

富士宮市長生園、都市公園、富士宮市総合福祉会館、富士宮市営墓地の4件についてプロポーザル(企画提案方式)により、選定委員会が指定管理者を選定しました。当委員会での調査は選定委員会が行なった選定方法等について調査するものであり、当局からの説明の後、各委員から様々な質問を行い、選定が公正に行われたことを確認しました。

その他に、当委員会の政策課題であります「プラスチックゴミをはじめとするゴミのリサイクルについて」を議題に、10月末に行なった視察の成果を踏まえ、これからの研究の方向性について議論を交わしました。



先進地視察

- 視察内容
- ・プラスチックごみの分別収集及び再資源化について(埼玉県入間市)
 - ・使用済み紙おむつの再資源化について(新潟県十日町市)
 - ・プラスチックごみの分別収集及び再資源化について(東京都目黒区)

今回、3箇所の視察を行いました。

「プラスチックごみの分別回収及び再資源化の取組みについて」というテーマで埼玉県入間市、東京都目黒区にて見聞してきました。

分別回収に伴う財政負担増の対応として、ごみ回収の有料化も今後視野に入れる必要性があること、プラごみ削減のためのエコ包装事業者への補助金などが参考になりました。

また、高齢者宅への戸別訪問回収などについても、本市における検討の必要性について認識を新たにしました。

その他、新潟県十日町市にて「使用済み紙おむつの燃料化実証実験について」というテーマで視察して参りました。

いずれも本市の課題と重なるところがあり、大変有意義な視察でありました。今後の議会活動、市政に反映させていきたいと思っております。



▲入間市の取組を視察



▲十日町市での視察

11月定例会の一般質問

19人の議員が、市の行財政全般についての執行状況や将来への考え方等を問い質し、適切に進んでいるかをチェックしました。また多くの議員は、市に対して施策の提言も行いました。

右のQRコードから、一般質問の全てを視聴できます。

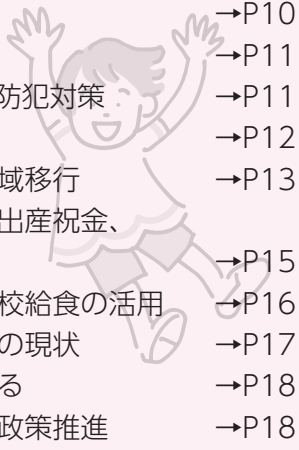


Topics 項目別の質問内容

議員はこんな内容を質問しています！

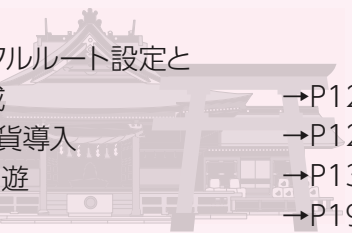
こども・学校教育 関係

- ・少子化対策 →P10
- ・中学校の部活動 →P11
- ・放課後児童クラブの防犯対策 →P11
- ・こども相談窓口 →P12
- ・中学校の部活動の地域移行 →P13
- ・給食費完全無償化と出産祝金、入学祝金 →P15
- ・有機農業の推進と学校給食の活用 →P16
- ・プログラミング教育の現状 →P17
- ・子どもの未来を考える →P18
- ・子どもを育てやすい政策推進 →P18



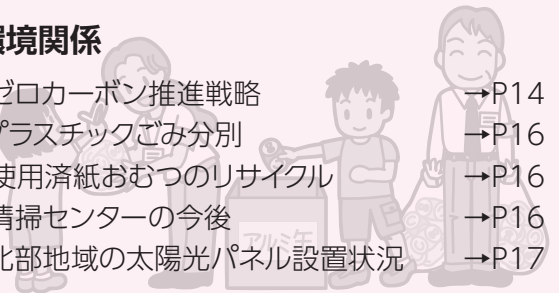
産業関係

- ・ナショナルサイクルルート設定と自転車文化醸成 →P12
- ・地域デジタル通貨導入 →P12
- ・観光客の市内周遊 →P13
- ・市の農業政策 →P19



環境関係

- ・ゼロカーボン推進戦略 →P14
- ・プラスチックごみ分別 →P16
- ・使用済紙おむつのリサイクル →P16
- ・清掃センターの今後 →P16
- ・北部地域の太陽光パネル設置状況 →P17

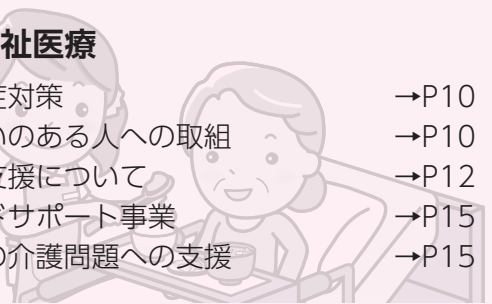


その他

- ・熊の出没対策 →P10
- ・情報発信のDX化 →P10
- ・体育施設の有効利用 →P11
- ・郷土史博物館基本構想 →P11
- ・市の西の玄関口に道の駅を →P12
- ・ペットの現状 →P13
- ・小公園の緑の維持管理 →P13
- ・文化財保存活用地域計画の策定 →P13
- ・宴会場のあるホテル誘致 →P14
- ・市民からの相談業務 →P14
- ・眺望点整備プロジェクト →P14
- ・北山用水世界かんがい遺産登録 →P17
- ・インフラ整備 →P17
- ・公共施設の駐車場 →P18
- ・合併処理浄化槽の普及等 →P18
- ・公共施設のトイレ洋式化 →P18
- ・浄化槽の維持管理 →P18

保健福祉医療

- ・認知症対策 →P10
- ・障がいのある人への取組 →P10
- ・終活支援について →P12
- ・フードサポート事業 →P15
- ・突然の介護問題への支援 →P15



紙面の都合上、掲載しきれなかった項目

- ・性被害から守る性教育
- ・困難な問題を抱える女性への支援
- ・富士宮市DX推進計画
- ・男子トイレへのサニタリーボックス設置
- ・市民の健康について
- ・共立蒲原総合病院



※一般質問の内容は議員自身が11月定例会議事録に基づき記述しています。

QRコードを読み取り、令和5年11月定例会を選択すると一般質問が視聴できます。

※部長名は、紙面の都合上「**部長**」で統一して表記しています。



あしざわ ひでのり
芦澤 秀典
(明和)

認知症対策について

問 市民に認知症を知ってもらうための取組について。

部長 市では、「個別支援の充実」、「認知症の人やその家族の視点の重視」、「住民主体の活動支援」の3つの視点を大切にしている。

教育長 教育現場でも認知症を学ぶ機会があったら積極的に呼びかけたい。

障がいのある人への取組について

問 生活支援体制に関する支援について。

部長 障がいの特性、障がいの程度や生活実態を踏まえ、個別に支給決定が行われる障害福祉サービスと市町村の創意工夫により、利用者の状況に応じて柔軟に実施できる地域生活支援事業などの支援体制がある。

問 保健及び医療に関する支援について。

部長 医療費の自己負担額が原則1割となる更生医療、育成医療、精神通院医療がある。このほか、精神保健福祉法に基づき3か月以上入院し、更に継続して入院が必要な人、又はその家族に対し、医療保険でかかった医療費の自己負担額の2分の1を助成する入院費助成制度や、重度の障がいのある方に対しては、医療保険の対象となる医療費の自己負担分を助成する重度障害者医療費助成制度がある。

市長 障がいのある方々とは、市長と語る会などでいつも連絡を取り合っており、要望もしっかり聞いている。

熊の出没対策について

問 熊による被害状況について。

部長 令和5年度中の熊による人的被害はなく、農作物への被害についても報告はない。

問 今後の熊対策について。

目撃情報があった場合には、速やかに各機関に情報提供するとともに、観光施設や農業施設などがある場合は、個別に情報提供をする。



うえまつ けんいち
植松 健一
(至誠)

少子化対策について

問 子ども医療費の無償化について。

部長 現在行なっている子ども医療費助成制度では、18歳未満の子どもの保険診療について通院4回、1回500円までの額を負担していただいている。この自己負担分も支払うことなく受診していただけるようになる。令和6年10月1日からの実施を予定しており、現在条例等の改正、令和6年度予算への計上、医療機関への周知などの準備を進めている。

市の情報発信のDX化について

問 自治会依頼業務の軽減の手段の一つとしてデジタル化が必要ではないか。

部長 現在、「広報ふじのみや」をはじめとする配布物については、回覧文書を含めてデジタル回覧板として市のホームページで公開などデ

ジタル化を進めている。デジタルで情報を入手している市民も一定数いることから、その人々に対する紙媒体での配布物をデジタルに置き換えることができれば、自治会への回覧や配布といった依頼業務の負担軽減にもつながると考える。依頼業務の削減及び負担軽減策について、庁内横断的に検討を行なう自治会依頼業務等削減検討委員会においても、負担軽減策の一つとして検討を進めているところである。

問 区や町内会の自治会活動のデジタル化としてSNSの利用を研修してはどうか。

部長 僅かではあるが、ホームページやSNSを活用し始めている自治会もある。区の規約や行事などの告知、報告など区民との情報共有や情報発信などに活用している。近年、自治会役員には働いている現役世代の方も多いため、情報共有の効率化が求められている。今後も区長会連合会と連携し、自治会活動におけるSNSなどの効率的な利用方法や自治会活動を支援するアプリなどについて研究していく。

※一般質問の内容は、議員自身が11月定例会議事録に基づき記述しています。



ひらした なおき
平下 尚己
(明和)

公立中学校の部活動について

問 令和5年度運動部大会の実績について。

教育長 東海大会出場6校、個人種目8種目、団体種目8種目。全国大会出場2校、個人種目2種目、団体種目2種目。

問 令和5年度文化部大会の実績について。

教育長 北友太鼓部ステージ部門参加、吹奏楽部東部地区大会2校、県大会2校、英語弁論東部大会2名、県大会2名。

問 大会参加の補助制度(補助金の種類、補助対象者、補助対象経費、補助額)について。

部長 体育連盟事業費補助金は大会運営に係る経費への補助。体育振興費補助金は中体連の大会参加に要する経費への補助で、個人の部東海大会6,000円、全国大会12,000円、団体の部5人以下東海大会3万円、全国大会5万円等。

芸術文化振興費補助金は、中文連の大会参加に要する経費への補助で1人につき東海大会2,000円、全国大会4,000円。上位大会のみ交付。部活動のあり方検討会で、今後の部活動のあり方を検討中。費用についても考えたい。

意見 市の代表で参加するので、補助でなく掛かった経費について全額支出するべきである。

体育施設の有効利用について

問 スポーツ以外の活用についてはいかがか。

部長 指定管理者と協議しながら、施設をさらに有効活用を図るために、スポーツ以外の取組も検討していく。

放課後児童クラブにおける防犯対策について

問 防犯対策の指導内容や備品について伺う。

部長 令和6年度から安全計画の策定が義務化されるため、市において安全管理マニュアルのひな型を提供し、各児童クラブにてそれぞれ策定作業を行っている。備品について整備が難しいものについては、児童クラブと協議しながら市も一緒に対応方法も含め検討していきたい。



こんどう ちづる
近藤 千鶴
(キセキ)

(仮称)富士宮市立郷土史博物館基本構想

問 基本構想について。

部長 市議会へ会派別に説明させていただいた結果、スケジュールに沿って一気に整備を進めることが難しいと認識している。文化財保存活用地域計画に基づいた博物館基本構想として進める必要がある。基本構想のスケジュールは今後変更になると考えられる。

問 埋蔵文化財センターは博物館に併設となっているが、別棟を建てるのか。

部長 今後見直しにより別棟もある。

問 令和6年度に博物館予算を計上するのか。

部長 優先すべき課題に対応する予算を検討。

問 基本計画策定委託料を計上するのか。

部長 基本構想の見直しを考慮し、一歩ずつ進めるため基本計画策定委託料は計上しない予定。

問 まずは市民の声を入れてほしい。令和2年の時の議員の要望が十分反映され、社会情勢、その動向を踏まえて必要な優先順位を十分考慮したものであってほしいと思う。全体像が見えてこない。博物館法の改正もポイントで構想を考え直し、社会情勢を鑑みて、ゆっくりじっくりやっていただきたいが、市長いかがか。

市長 社会情勢を見ながら考えている。ゆっくりじっくりやっていく。一気にやってしまえと思ったが、いろいろなご意見もある中、財政状況も考えているが、博物館を造ったからといって富士宮市の財政がひっくり返るようなことはない。

問 大きな箱物を作るときは普通、基金とか積み立ててないのか。十何年も前からこの話が出ているのに基金の存在がないのは不思議。そのような努力が必要だと思うが、いかがか。

副市長 じっくりやっていく。文化財保存活用地域計画は、文化財のマスタープラン。その中でいろいろな意見を吸い上げられると思う。



※一般質問の内容は議員自身が11月定例会議事録に基づき記述しています。

QRコードを読み取り、令和5年11月定例会を選択すると一般質問が視聴できます。

※部長名は、紙面の都合上「部長」で統一して表記しています。



なかの けんたろう
中野 健太郎
(明和)

富士山一周ナショナルサイクルルート(NCR)実現に向けた取組と自転車文化の醸成について

問 しまなみ海道やピワイチはNCR創設前から自治体独自の受入体制を整え、効果実績を上げている。コンビニエンスストアや商店にサイクルステーション設置の協力を求める等、富士宮市独自の取組を進めるべき。

部長 まずは静岡、山梨両県が中心となった推進協議会のアクションプランを確認し、内容に沿うよう関係者一体で進めていきたい。

問 誰もが健康で安全にサイクリングを楽しむため策定した自転車活用推進計画がある。熱意を持って取り組んでほしいが、いかがか。

市長 富士宮市を日本一のEバイク、自転車のまちにしたい。富士山を取り巻くまちと連携し合い、自転車で活かされるまちにしていきたい。

問 安心安全に乗れる環境づくりとして、高校生議会でも提案のあった、ヘルメット購入費の補助を導入すべき。

部長 市内での購入を対象に、年齢制限なし、2千円を限度額で検討を進めている。

多死社会到来と終活支援について

問 市内独り暮らし高齢者は5,376世帯で、10年で2,145世帯増えた。高齢夫婦世帯も市全体の12.65%を占めていることから、終活支援の潜在的ニーズは高まっているのではないか。

部長 職員が地域に入り、終活の意識の薄いところへのアプローチを意識的に取り組んでいる。

問 市職員も専門職もこれまで以上の人手不足が想定される。相談にはデジタル技術によるチャットボット導入、シェアリングエコノミー(人材の共有化)が必要ではないか。

部長 社会福祉施設長会でも現場のDX活用の質問が出ていて、必要性を感じている。情報を収集して、現場の負担軽減策は市も一緒に考えていく必要がある。



つじむら たける
辻村 岳瑠
(明和)

タブレット端末を活用した「こどもの相談窓口」

問 児童生徒の声を聴くために「こども相談窓口」として、1人1台配布されているタブレット端末を活用した相談窓口を設置してみてもは。

教育長 令和6年度から、1人1台端末を活用した相談窓口として、心の健康チェックの実施ができるよう検討している。児童生徒は、身近にある端末を活用することで、いつでも、どこからでも心身の健康状態が表明できるため、それを活用した不登校やいじめ予防、さらには自殺予防につなげていきたいと考えている。

問 そういった子どもの一次情報は、教育機関でのみ共有するのか。

教育長 子どものセーフティーネットのため、できるだけ大勢の方で共有することを考えている。

意見 こどもを真ん中にした社会づくりには、大人が相手の立場で物事を考える環境が大切である。理解してから理解されるという基本的なことへの意識変革を期待する。

地域デジタル通貨「(仮称)みーや」

問 人口減少に伴い、市内消費活動は弱まり、地域経済は縮小することが予想される。持続可能な市内経済活動を支えるため、その一つの方法である地域デジタル通貨の導入を提案する。

部長 現時点ではまだ導入は難しい。

部長 導入に向けた課題整理とその解決方法を模索するための研究を進めていく。

副市長 持続できるのかなどの課題はあるが、地域デジタル通貨の魅力は検討する価値はある。

道の駅を活用した西の玄関口について

問 西の玄関口にふさわしい、道の駅を活用した新たな就業創出で地域の活力を向上できないか。

市長 場所の適格性と周囲の方の賛成がまず重要である。

※一般質問の内容は、議員自身が11月定例会議事録に基づき記述しています。



さの かずや
佐野 和也
(明和)

観光客が富士宮市を周遊する施策について

問 現在行われている施策及び今後どのような計画を考えているのか。

部長 主な取組としては、VR動画を活用した誘客活動があり、観光展や商談会など様々な場面でPR活動を行っている。次に、E-BIKEを活用した誘客活動があり、昨年度は海外からの教育旅行や研修の受入れを念頭に、SDGsの理念に基づき持続社会づくりに取り組んでいる事業所や団体などを訪問し、実体験をしてもらう観光商品を企画した。

問 ゲームアプリを活用した自治体があるが、富士宮市は検討したことはあるのか。

部長 調べたところ、ユーザーの評判がいいようである。開発費が大体300万円からというのが一般的になっている。全国的な事例や

評判を聞きながら、しっかり研究はしていきたいと思う。

富士宮市におけるペット等の現状について

問 ペットの種類と数について。

部長 狂犬病予防法第4条第1項により、飼い犬の数は令和5年11月20日現在、8736匹と把握しているが、そのほかの動物については登録の義務がないため把握していない。

問 ペットが死んだ後のことについて。

部長 飼い主が火葬を希望された場合は、富士宮聖苑にて火葬している。使用料は、小動物であり10キログラム以下に限り、富士宮市民は5,230円、富士宮市民以外は1万470円。遺灰は愛知県にある眞龍院にて、愛玩動物供養塔に埋葬し供養していただいている。

問 慰霊碑が欲しいとの声はあるのか。

部長 僅か1, 2件お問い合わせがあった。

副市長 政教分離というか、そういう性質のものも十分検討しながらやっていかなければならない難しい事案だと考える。



あかいけ ひろもと
赤池 弘源
(明和)

小公園の緑の維持管理について

問 私は、緑化推進協議会で花の花壇コンクールに以前携わっていた。緑のコンクールは聞いたことがないが、いかがか。

市長 公園を管理して下さる方々には、部長も答弁したが、表彰規定をしっかりと作り、感謝の気持ちを持って表彰していきたいと思っている。



▲ゴリラ公園



▲ソフトボール

文化財保存活用地域計画について

問 若者の人口流出が進む中で、若者が地元の魅力を感じてもらえるような、文化財保存

活用地域計画づくりが大事であると考えているが、いかがか。

部長 活用方法を検討する中で、由来や歴史を伝えながら若者の感じる魅力やアイデアも聞くような機会をつくり、若者の意見も取り入れていきたいと考えている。高校会議所や高校生議会、二十歳を祝う集いの実行委員会など、そういう方々に話を聞くことで、機会を設けていきたい。

中学校の部活動の地域移行について

問 教師が部活動顧問を兼ねると、教師の負担は変わらないということか。

教育長 それは違う。教師の仕事ではない。部活動に関わってもいいという届けを出さなければ当然負担は生じない。届けを出さず人は、自分が部活を見てもいい、やってみたいという人たちになる。その意向をしっかりとしないと、大会自体が成り立つことが難しくなる。



▲縄文祭り



※一般質問の内容は議員自身が11月定例会議事録に基づき記述しています。

QRコードを読み取り、令和5年11月定例会を選択すると一般質問が視聴できます。

※部長名は、紙面の都合上「部長」で統一して表記しています。



すずき ひろむ
鈴木 弘
(至誠)

ゼロカーボン推進戦略について

問 ゼロカーボンの推進のためには、大口排出事業者の取組が欠かせない。これらの事業者の取組状況はいかがか伺う。

部長 大口排出事業者の取組について把握していないが、市では地球温暖化対策地方公共団体実行計画を策定し、計画を推進している。

問 各企業とパートナーシップを結んで共に取り組むことが必要と思うが、いかがか伺う。

部長 企業の状況を把握して共に考えてやっていくことは、非常に大事なことだと認識している。

問 公共交通における電気バスの導入計画について伺う。

部長 市域を運行するバス事業者によると、富士市を中心に数台ではあるが、主要となる路線か

ら導入の計画があるとのこと。

宴会場のあるホテルの誘致について

問 現在どのような誘致活動を行っているのか伺う。

部長 現在、朝霧高原地区へのホテル建設に向け手続きを進めている。来年度は、ホテル誘致の専門的な知見を持つ民間事業者と更なる誘致活動の強化を検討している。

市長 宴会場のあるホテルが欲しいとしてやってきたが、宴会場は難しい。とにかくホテルが欲しい。宴会場がなくても仕方ないと考えている。なんとかしてホテルを幾つか作っていききたい。専門チームを作って、専門家にも相談して一生懸命ホテル誘致に励んでいきたい。



うすい ゆきこ
臼井 由紀子
(富岳会)

市民からの相談について

問 市役所には、相談窓口と呼ばれている場所は何か所あるのか伺う。

部長 現在、市公式HP等で案内している場所は16か所。市民相談、外国人相談、福祉総合相談、家庭児童相談、健康相談などがある。

問 どこに相談してよいのか分からない場合に対応できる「なんでも相談窓口」の必要性を感じるが、いかがか伺う。

部長 相談先の窓口に迷った際には、庁舎内外の機関との調整機能を持った相談対応を行う1階市民相談窓口で対応。改めてHPを確認したが見づらいと思った。改修するよう職員に伝えているので直していきたいと思っている。

「眺望点整備プロジェクト」について

問 富士宮市富士山眺望点の指定はいつどん

な方法で決定したのか。

部長 平成27年3月17か所、29年3月に3か所、合わせて20か所が富士山眺望点指定基準を満たし、市景観審議会で認められ指定。

問 市内外へどのような方法でアピールしているのか。

部長 今までは、HPにマップを掲載するとともにグーグル社のマップ機能を使用して、その位置と写真が見える。富士山世界遺産登録10周年に合わせ、今年度は富士山世界遺産課の公式Xで眺望点の場所と写真を発信する予定。

問 羽鮒山展望台のすぐ下の棚田は「美しく品格のある邑」に登録されているが。

部長 その中の事業として何かツールを作って、邑に来てもらった人に利用してもらうというのは事業の一つで有効な話。今後農村風景に繋げていくのであればいろんな形で支援をしたい。大きなPRという意味での提案だが、「美しく品格のある邑」とともに景観賞にエントリーしていただければありがたい。

※一般質問の内容は、議員自身が11月定例会議事録に基づき記述しています。



わたなべ よしまさ
渡辺 佳正
(無会派)

学校給食費無償化に向けて市独自の取組と出産祝い金・入学祝い金の提案について

問 学校給食費の第2子目半額、第3子目以降全額無償化、及び出産祝い金(第1子目30万円、第2子目40万円、第3子目以降50万円)と入学祝い金(小中高それぞれ10万円)を宮クーポン券で発行することについて、市の考えを伺う。また、出産から小学校入学前までの平均的な育児費用はどれだけか。

部長 学校給食費無償化(上記提案)には約1.5億円、出産祝い・入学祝い金の提案には約6億円とその他経費の財源が必要で、市独自に実施することは難しい。また、小学校入学前までの平均的な育児費用は、国が平成21年に実施した調査で約736万円。現在はもっと大きな金額になると推測される。

問 給食費の無償化を国の制度として始めるために、期間限定であっても市が一步を踏み出すことが必要ではないか。

市長 国が進める異次元の子ども政策に期待し、他の自治体と歩調を合わせてやっていきたい。

社会福祉協議会が実施するフードサポート事業に対する市の連携・協力体制の強化について

問 食品や生活用品を収集する場所を増やすことや、必要な人に必要な物資を届ける体制の充実及びフードサポート事業の市民への周知についてどう考えるか。

部長 食品管理の面から収集場所については、現行の方法が望ましい。物資の配布体制充実や市民への周知については、社会福祉協議会からの提案があれば、積極的に協力していく。



▲食品の提供を呼びかける旗と回収ボックス(市役所1階)



なかがめ きょうへい
仲亀 恭平
(無会派)

介護の準備で知っておきたい知識について。 突然の介護問題にほとんどの人は何から手をつけていいのかわからず「事前に備えておけばよかった…」と、今から準備しておくことが介護の負担を減らす上で重要だと考え伺う。

問 介護に関する費用について。

部長 介護保険サービスにかかった費用の1割が自己負担額(※所得に応じて2割又は3割)のほか、日常生活費(居住費、食費、おむつ代、洗濯代など)の金銭的負担がある。

- ・平均74万円(住宅改修などの一時的な費用)
- ・平均8万3,000円(介護保険の月額費用)
- ・平均4万8,000円(在宅介護の月額費用)
- ・平均12万2,000円(施設介護の月額費用)

問 介護の準備で知っておきたい知識とは。

部長 日頃から相談できる、かかりつけ医を見

つけておくことが重要な準備だと考える。市内に6か所ある地域包括支援センターへ事前に相談しておくことも重要な準備だと考える。

富士宮市地域包括支援センター

問 介護者の生活に影響を与えることは。

部長 74.9%の方が不安を感じている。不安の第1位は

- 【自分の肉体的、精神的な負担】続いて、
- 【自分の時間が拘束される】、
- 【自分の経済的負担】、
- 【介護サービスの費用が不安】、



急に身近な家族に介護が必要となった場合には、地域包括支援センターなどの身近な相談窓口を知っておくことが大切だと考える。

問 介護する人のための支援制度について。

部長 【介護休暇】【勤務時間の短縮措置】【法定時間外労働の制限】【深夜業の制限】など。市では【紙おむつ購入費助成】【寝たきり老人等介護手当】【訪問理美容サービス】などを実施。



※一般質問の内容は議員自身が11月定例会議事録に基づき記述しています。

QRコードを読み取り、令和5年11月定例会を選択すると一般質問が視聴できます。

※部長名は、紙面の都合上「部長」で統一して表記しています。



さいとう かずふみ

齋藤 和文

(公明会)

プラスチックごみ分別について

問 自治会未加入者(外国人、アパートや別荘地域などに住んでいる方)への周知について。

部長 令和6年4月から始まる分別に対し、市民説明会、動画配信、SNSによる周知に加え、今後、自治会を通してチラシや分別冊子を配布予定である。その他外国人学校での説明会、6か国語の外国語版により周知していく。

問 自治体未加入者約3割への対応について。

部長 芝川地区では民生委員の協力を得て、配布対応したことがあるので、今後このような方法を検討し取り組んでいきたい。

使用済み紙おむつのリサイクルについて

問 一般ごみに占める割合等について。

部長 推計ではあるが、年間2,052t、焼却量に占める割合は5.7%である。

問 県の紙おむつリサイクルの動向について。

部長 県廃棄物リサイクル課の主催で、県内市町を対象とした使用済み紙おむつリサイクル研究会が立ち上がり、民間先進事例である株式会社スーパーフェイズ様の分別回収と燃料化の紹介と市町と連携実験の事例紹介があった。

問 市の紙おむつリサイクルの動向について。

部長 高齢化により使用済み紙おむつ排出量増加が見込まれる。今後、紙おむつを新たな分別品目として検討し、国、県、民間事業者の動向に注視し、技術面や費用対効果も注視していく。

清掃センターの今後について

問 清掃センターの焼却炉の寿命について。

部長 目標耐用年数を70年と定め、令和6年度以降も更新工事を行い、延命化していく。

問 県マスタープランを基にした市総合計画、一般廃棄物処理基本計画の方向性について。

部長 令和14年以降、富士市及び沼津市との広域化等の枠組みが示されており、今後両市とは広域化等の情報収集、意見交換を進めていく。



いわむら えみ

岩村 恵美

(キセキ)

有機農業(オーガニック)の推進と学校給食の活用について

問 有機給食を望む声がある中で、今までなぜ学校給食に有機食材を導入してこなかったのか、課題及び懸念事項を伺う。

部長 ①変質や折れ破損のないもの。②納入の日時と量。③納入価格、限られた予算で必要な給食を賄わなければならないため。

問 学校給食が量的には難しいということであれば、保育園から始めてみるのはいかがでしょうか。

市長 例えば、白糸保育園は農業地帯にあるため、一定の地域を有機農業という形で推奨してやっていくことが一つの案。前向きに検討する。

問 ゲノム編集を含む遺伝子操作された農産物が給食に使用されることはないのか。

部長 全ての食材に共通する事項として、遺伝子組み換え食品、ゲノム編集食品を避け、基本的に国内産原料、国内生産のものを優先し、ゲノム編集食品は納入しないようお願いしている。

問 当市における20年前、10年前及び現在の児童生徒の自閉症と診断された人数について。

教育長 自閉症と診断されたことを、保護者が学校へ申告する義務はないので、診断された児童生徒数を把握していないが、自閉症情緒障害の特別支援学級に在籍する児童生徒数は、20年前は20名、10年前は35名、今年度は62名。

意見 今、オーガニック給食がなぜ必要なのか、データの一つになるが、26年間で68倍、発達障がい児が日本では増えている。子どもたちの尿から農薬の残留物がでていることを考えても、今、かじを切るタイミングなのでは。



※一般質問の内容は、議員自身が11月定例会議事録に基づき記述しています。



こまつ かいぞう
小松 快造
(富岳会)

北山用水世界かんがい施設遺産登録について

問 ①世界かんがい施設遺産とはどのようなものか。②申請のきっかけはどのようなことだったのか。③登録される際に評価されたことは何か。④登録後、北山山宮地区にて想定されることは。⑤登録を維持するために何が必要か、また、管理には何が必要か。⑥地域の方々に、登録されたことや今後求めることをどのような形で周知していくのか。

部長 ①建設から100年以上が経過し、歴史的技術的価値のあるかんがい施設、かんがいの歴史や発展を明らかにし、適切な保全に資するため認定し、持続的な活用や保全方法などを提供。②平成30年、第4回全国小水力発電大会in富士宮において、「徳川家康と本門寺掘」冊子を作成。それにより、北山用水に対す

る理解が深まり多くの関係者の後押しや協力により申請に至った。③北山用水は1582年に建設を始め、7つの浸食谷を横断するため木製の箱樋、埋樋、掛樋など優れた技術が用いられ、土石流を避けた優れた技術が評価され、北山用水の豊富な水量と落差を利用した小水力発電(4か所)が行われ、二酸化炭素を発生しないクリーンな電力を生み出していることも評価された。④すでに登録済みの県内4つの施設事務局に伺ったところ、他市町からの視察や地域住民の見学者が増え関心の高まりを感じる。北山用水においても視察をはじめ多くの人を訪れることが想定される。⑤登録を維持するための修繕が必要な場合は市が主体的に行う。草刈りやごみ取りなどは、北山用水運営協力委員会が中心となって作業を行っている。地域の皆様にはなお一層北山用水を大切にす意識を持っていただきたい。⑥継承と地域づくりの起爆剤になるよう、取り組む。



さの としお
佐野 寿夫
(公明会)

北部地域における太陽光パネル設置の現状と対応について

問 設置に際し、周辺住民から反対運動があるときの、当局の対応について伺う。

部長 モジュール面積が1,000平米を超える設備の設置には、自治会説明会及び近隣関係者説明報告書の提出を要する。住民の意見及び理解の深度を確認し、これらに留意した上で最終的な同意の是非の判断を行っている。

問 世界遺産のバッファゾーン周辺に係る景観への配慮を強化することについて伺う。

部長 遺産影響評価の考えは、影響が生じるおそれがある場合は、事業者計画変更を求めたり、中止要請を行うことができる。本市としても、富士山の景観保全に万全の配慮を行う。

問 パネル設置における市長の考えを伺う。

市長 北部地域において、美しい景観や豊かな自然環境を保全し後世に継承していくことは、市の責務である。

プログラミング教育の現状について

問 「高校生と学ぶプログラミング教室」の評価と今後について伺う。

教育長 10月から月1回、全4回計画し、富士宮北高校で実施している。小学生約20人、中学生約10人の参加があり、意欲的に学んでいる。令和6年度には取組を拡大し、希望のある学校へ高校生や外部講師が出向いて、学級ごとにプログラミングを教える取組を検討している。

インフラ整備(道路及び河川の改修費用)の予算の推移について

問 予算動向及び配分について伺う。

部長 老朽化が進むインフラの維持管理、更新については、重要な課題の一つであると認識している。引き続き年度間の財政負担の平準化を図った上で、国・県補助金等特定財源の活用により意を用いながら予算措置を講じていく。



※一般質問の内容は議員自身が11月定例会議事録に基づき記述しています。

QRコードを読み取り、令和5年11月定例会を選択すると一般質問が視聴できます。

※部長名は、紙面の都合上「部長」で統一して表記しています。



さの かずひこ
佐野 和彦
(富岳会)

子どもの未来を考える

問 子どもを中心に置いた未来をつくるために、市ではどのような施策や計画を考えているのか。また、「富士宮こども未来憲章」など考えられないか伺う。

部長 国では子ども基本法を公布し、第9条に市では市こども計画を策定することを努力義務としていることから、具体的な計画や施策については、これから検討していくことになる。また、市として改めて独自の憲章を制定することは考えていない。

公共施設の駐車場を考える

問 市民文化会館を52億円もかけリニューアル工事をするのに、駐車場に手をつけなかったのはなぜか。また、郷土史博物館などと一緒の複合施設にし、白糸自然公園や城山公園などに建設

できれば駐車場も確保できると思うが。

部長 過去の質問を踏まえ立体駐車場も検討したが、費用対効果を考えると効率がよくない。また、騒音など諸問題があるため、周りに空いている土地があれば購入や借用で考えていく。

市長 市民文化会館を移転することは毛頭考えていない。過去のいきさつを考えないで質問するのは空論に過ぎない。みんなが工夫して駐車しているので心配していないし、土地があればどんどん買い求めていきたい。佐野議員が心配するほどのことではない。

意見 空論を飛ばしたわけではなく、使いづらい市民文化会館の駐車場を何とかしなければという思いから、質問しているので理解してほしい。市民文化会館は市民が使う重要な施設なので、今後も駐車場のことは考えてほしい。

合併処理浄化槽の普及と管理費の軽減

問 維持管理費の補助は考えられないか。

部長 現時点での補助は考えていないが、他市の動向など見ながら研究していく。



もちづき よしまさ
望月 芳将
(無会派)

公共施設のトイレの洋式化は

問 和式トイレの必要性について伺う。

部長 和式トイレは高齢者や妊婦にとって負担であり転倒のリスクがある。社会的に必要性が薄れている。現在も洋式トイレの整備を行っており、今後も高機能な温水洗浄暖房付き便座トイレの整備を行っていく。

問 浅間大社駐車場のトイレを利用した女性が入った個室が、和式トイレで違和感を訴えてきた。観光地として、イラストなどでトイレの形状を表示するなどの対応をとるべきでは。

市長 イラストだけならそんなにお金もかからないので、努めていきたい。

浄化槽の維持管理について

問 合併処理浄化槽の修繕や補修に公的支援は考えられないか。

部長 現時点では考えていないが、修繕や更新(維持管理)の補助金について、今後も研究していく。

意見 合併浄化槽の導入補助金が創設され35年が経過し、浄化槽自体の老朽化が進んでおり、こうした施設の長寿命化が必要ではないか。

子どもを育てやすい政策を

問 紙おむつの一歳までの支給は。

部長 現在考えていない。国の施策により出産子育て応援給付金が、安心して妊娠・出産できる環境づくりの一助となればと思っている。

問 保育園での米飯提供はできないものか。

部長 公立保育園の3歳以上の園児が主食を持参している。米飯を提供すると、新たに炊飯器や人数分の食器購入や保管庫が必要で、現在の調理室では不可能。

問 なぜ現在月に1回米飯を提供できるのか。

部長 献立や作り方で工夫している。

意見 そうした工夫をして前進をお願いしたい。

※一般質問の内容は、議員自身が11月定例会議事録に基づき記述しています。



いなば こうじ
稲葉 晃司
(無会派)

**富士宮市の農業政策について
～SAY農2023その3～**

問 団塊の世代の子どもの世代から孫の世代に引き継いでいくために、効果のある圃場整備事業を進めていくことは、優先順位が高いと考えられるが、市の見解はいかがか。

部長 圃場整備事業の要望のある地域とのコミュニケーションを図り、事業効果に関する調査等に取り組んでいる。今後の地域計画の話し合いについて老若男女を問わず、農業者同士の連携を図る良い機会と捉え、次世代にわたる農業活性化という視点から特に若い農業者の参加を募っていく。

問 これらの担い手を生み出すきっかけづくりとして、教育現場における協力も必要。地域課題の1つとして、農業に対し今一步踏み込ん

だ教育の実践により、10年後の担い手づくりの可能性を広げることを検討できないか。

教育長 農作物を育てる環境の整っている学校では技術科の学習『生物育成の技術』でより実践的な学習を行うことができる。各校で学習環境を整えば、農業に対して今一步踏み込んだ教育が展開できると考える。更に、富士山学習での学びが高等学校での探求科の学習に続くことにより、農業を支えていく人材が生まれてくる可能性が一層広がると考える。

問 担い手不足について、社会科の授業等で扱っているのか。

教育長 農業や林業とか色々な形で後継者不足について小中学校で扱っている。農業は魅力のある分野なので、学校が農業の面白さを伝えていければ、児童生徒だけでなく先生方も農業をやってみたいといった思いになっていただけたと思う。

2月定例会の予定 2月8日(木)～3月18日(月)

日	月	火	水	木	金	土
2/4	5	6	7	8 開 会 施政方針	9	10
11	12	13 議案審議 議会運営 委員会	14 総務文教 委員会	15 環境厚生 委員会	16 産業都市 委員会	17
18	19 議会運営 委員会	20	21	22	23	24
25	26	27	28 議会運営 委員会	29 代表 質問	3/1 代表 質問	2
3	4	5	6	7 予算審査 特別委員会	8 予算審査 特別委員会	9
10	11	12	13 一般 質問	14 一般 質問	15 一般 質問	16
17	18 一般質問 議案審議 閉 会	19	20	21	22	23

◆定例会開催中以外にも、全員協議会、正副議長・正副委員長会議、会派代表者会議、議会だより編集委員会などが随時開催されています。

◆日程は変更になる場合があるため、間近になりましたら議会事務局にお問い合わせください。

TEL : 0544-22-1191

インターネット中継でも視聴できます。是非ご利用ください。





表紙の説明＆



作者高校生紹介

表紙作成者紹介



▲野村優杏さん(表紙作成者)

2月の富士山が映えるような構図にしたかったので、美しい神田川からの景色を描きました。水の透き通った感じや、冷たさ、勢いが伝わるよう意識しました。

題字作成者紹介

富士田璃央さん



▲書道部活動のようす

書道部では、半紙に臨書や創作をするだけでなく、大きな紙に何人かで思いを込めて書く、パフォーマンスも行っています。部員全員で協力して、仲良く活動しています。今回は、みんなが「笑顔」でいて欲しいという願いを込めて書きました。

今回号の表紙は、富士宮東高校に作成していただきました。次号(6/1発行)は富士宮北高校が作成します。乞うご期待ください！！

校風紹介(学校紹介)

富士宮東高校の芸術コースの紹介をします。普通科芸術コース(令和6年度、アートコースに名称変更)では、美術を専門に学ぶと同時に、美術大学進学に不可欠な基礎学力を身につけることができます。そのため、進路の面でも五美大に行くなどの進学実績があります。充実した美術科目の学びに加え、放課後は美術部の活動で、作品制作や黒板アートなど、仲間と技術を磨き合い高め合うことができます。

議会に一言

こんにちは、東高生徒会の山田保花です。今年度、高校生議会に参加し、富士宮市について深く考えることができました。

私はさくやちゃんの活用について意見を出したのですが、市の部長さんなどが私の出した意見に対し、今後の取組を真剣に考え返答していただきました。

今回の高校生議会を通し、人へ意見を伝える大変さや工夫の仕方を学べたと思います。機会があればまた参加したいと思います。



▲左から鈴木結心さん、坂上大高さん、山田保花さん(R5年度、東高選出の高校生議会参加生徒さん)

議会に一言へのお返事と編集後記

—— 中野 健太郎 委員 ——

高校生議会への参加、議会だよりの表紙づくりと市政・地方自治に関心を持ってくださり、ありがとうございます。市議会については義務教育で触れられる機会が少ないですが、皆さんの身の回りのルールを決める大切な役割があります。

さて、今回号は、議会だよりに関わってくれた学校を訪ねる高校訪問(議会だより広報)を特集しました。これからも親近感を持ってもらえるような企画を考えていきます。どうぞお楽しみに！

新型コロナウイルス感染症対策財源確保のため、今年度の議会だよりは、表裏表紙以外はフルカラー印刷から2色刷り印刷に変更されています。